

通常の学級に在籍する児童生徒への支援

南魚沼市立北辰小学校 教諭 笹岡るり子

1 はじめに

発達障害通級指導教室を担当して2年目になった。通級指導教室では、児童の実態に合わせた指導内容を選び、教材を工夫し、繰り返し学習することができる。また、じっくりと児童の話の聞いたり、好きなことに取り組みせたりすることができる。結果、できることが増える子や穏やかな表情を見せるようになる子など、それぞれの変容が見られる。

しかし、それだけでは不十分であると考えている。通常の学級に在籍する児童にとって、学級の中で認められることにこそ大きな価値がある。

児童の困り感が軽減し、通常学級内で自己実現ができる通級指導教室での支援の方策についてまとめた。

2 実践

(1) 在籍学級への支援

①在籍担任や保護者との連携

- ・在籍校訪問
- ・「個別の指導計画」作成
- ・連絡ファイルの活用

②周りの児童への支援

- ・道徳の授業の実施

(2) 通級児童への支援

①児童のモチベーションを高める工夫

- ・「今の私 少し未来の私」からがんばりカードへ
- ・「友だちブック」の取組

②苦手な学習への支援

(3) その他

- ・教育相談（アセスメントを基に）
- ・「3金サロン」の実施
- ・特別支援教育研修会への協力

3 おわりに

ユニバーサルデザインの授業や学級経営によって、困り感のある児童が参加しやすい学級になることは間違いない。まずは、児童が学級の中で安心して過ごし、授業に参加する環境を整える必要がある。そのためには、支援者の温かさと思いやり、周りの理解が最も大切ではないだろうか。

次の目標は、児童が学級の一員として自己実現するための支援について、具体的に探っていくことだと考える。通級指導教室で児童は、自己実現するための力を蓄える。そして、その力を発揮できるように通常学級担任は環境を整える。そんな連携プレーを今後も目指していきたい。